



YAIZU CITY NEWS RELEASE

全国に先駆けた焼津市学校福祉部の 子どもと家庭を支える取り組みが県のモデル事業に選定

焼津市は、福祉的な視点を全国に先駆けて令和2年度から取り入れ、教育と福祉が一体となって児童生徒や保護者に寄り添った支援を行っており、令和5年度には学校福祉部を設置しています。

今年度、県が国（こども家庭庁）の委託を受け、福祉的な視点で不登校の子どもや保護者を支援する人材の育成や体制整備等の手法について、実践に基づき研究を行っている「地域における不登校のこどもへの切れ目ない支援事業」において、焼津市がモデル地域に選定されています。

■焼津市がモデル地域に

（１）学校福祉部の設置

焼津市は、不登校をはじめとする学校生活に課題を抱える子どもに対しての教育的支援の強化、さらにその背景にある家庭問題への福祉的支援なども含めた一体的な支援を行うため、全国に先駆けて令和2年度に教育委員会事務局内に学校教育課「家庭・子ども支援室」、令和3年度に「家庭・子ども支援課」を設置し、令和5年度には「学校福祉部」を設置しています。

（２）専門的職員の配置

学校福祉部には、教員、保健師、公認心理師などの専門的知識を有する職員を配置して、困り感を抱える子どもとその保護者に寄り添い、学校や関係機関と連携して、不登校対策や生活改善、家庭環境の改善に向けた様々なサポートをしています。

（３）アウトリーチ型支援

焼津市では、児童生徒や保護者の情報をケース会議で共有したうえで、どのような支援が適切か必要に応じて関係機関との連携も視野に入れ支援方法を決定し、アウトリーチ型の支援として学校福祉部の職員が直接子どもとの面談や登校支援、経済的問題を抱える家庭への支援など、個々の実態に即した支援に努めております。

問合先

焼津市教育委員会事務局 学校福祉部 子ども支援課 中村・守屋
TEL054-625-8159 FAX054-626-2188

20261028 PM01:30

学校福祉部 取組の成果

☆進路の決定☆

家に引きこもる生活が続いていた A さんに、学校と学校福祉部の職員が母親の気持ちに寄り添って面談を続けたところ、中学校 3 年生になって A さんは母親と一緒に市役所で職員と会うことができるようになりました。その後、通信制高校入試に向けて努力を重ね、見事に合格をすることができました。高校で、充実した毎日を過ごしています。



進路学習会の様子

☆経済的問題への支援☆

経済的な問題を抱える保護者に対し、市役所の窓口で学校福祉部の職員が同行して利用可能な福祉サービスに繋げました。不安定な表れが見られていた子ども達は落ち着きを取り戻し、元気に学校へ通うようになりました。

☆重層的な支援☆

不登校傾向にあった児童と職員が一緒に登校したり、その保護者の抱える課題に目を向け、行政手続きのサポートを行ったり、福祉的な機関と家庭をつないだりするなど重層的な支援を行っています。

焼津市教育委員会 組織図



(児童生徒支援、チャレンジ教室、心の教室、特別支援教育、就学支援、学齢期巡回相談、青少年教育相談 等)

(家庭支援、放課後児童健全育成 等)